

中国と日本の友好の懸け橋として頑張ります 中国国際交流員 李琪さん

大家好！（皆さん、こんにちは！）ことし3月に文化国際課に着任した、中国国際交流員^{りき}の李琪です。2020年来日する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で約2年間渡航ができず、このたびようやく着任することができました。これからどうぞよろしくお願ひします。

私の出身は四川省^{せいと}成都市です。成都市は三国志の中の蜀^{しよく}として知られており、パンダでも有名な都市です。中国の大学で日本語を専攻し、卒業後は神戸市立外国語大学大学院で日本語の音声学について学び、帰国後は、成都市で日本語教師をしていました。成都には日本語に興味を持つ若者が多く、仕事にやりがいを感じていましたが、さらなるキャリアアップと幅広い分野で日中友好交流に関わりたいと思い、今回の国際交流員としての仕事に挑戦してみました。

佐世保に着いた日のことは今も鮮明に覚えています。故郷の成都市は内陸部に位置し、海が無いので、車窓から見るとてもきれいな海に、終始わくわくしていました。街並みもとてもきれいで、観光名所も多く「九十九島」や「ハウステンボス」などいろいろな場所を観光したいです。また、佐世保バーガーやレモンステーキなど佐世保ならではのグルメも堪能したいです。

これから国際交流員の仕事を通し、さまざまな人と交流を取っていきたいです。また、佐世保の皆さんには中国の伝統文化や最近のトレンドを、中国の皆さんには佐世保の魅力を紹介するなど、中国と日本の友好の懸け橋として頑張りますので、どうぞよろしくお願ひします。

☎文化国際課 ☎ 24-1111



佐世保で頑張る若者紹介 1

英語で意思疎通ができ 無事に仕事を終えた時にやりがいを感じます

株式会社東洋トラスト特機
井戸 智子さん

小佐々工業団地にある株式会社東洋トラスト特機で米海軍コーディネーターとして働く井戸智子さん。8月で入社2年目を迎えます。同社は主に米海軍基地や自衛隊の艦船の電気機器や産業機器などの組み立てや修理を行っています。

大村市出身の井戸さんは音楽をきっかけに英語への興味を持ち、大学で専門的に英語を学びました。卒業後はアメリカへの就職が決まっていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で渡米を断念。しかし、英語を使う仕事がしたいという強い思いがあり、県内で改めて就職活動を行いました。佐世保市には米海軍基地があり、英語を使う仕事が他の地域よりも多いことを知った井戸さ

さんは、本市での就職活動を進め、英語でコミュニケーションを行う業務がある同社に引かれ入社しました。

仕事について尋ねると「機械関係の専門的な英単語など、勉強中で言葉に詰まることも多くありますが、相手に緊張が伝わらないように、表情を硬くしないように心掛けています」と話し「英語で意思疎通ができ、無事に仕事を終えた時にやりがいを感じます」と続けます。

また、佐世保での暮らしについて尋ねると「米海軍関係で仲良くなった人と余暇を楽しむなど、佐世保だからできる付き合いだと思います」と笑顔で話してくれました。

（取材日 4月25日）

※このコーナーでは、佐世保で働く若い人に話を聞き、市内就業の魅力などを紹介します。